

技術士稲門会会報

VOI. 1 No. 2
2010年11月1日 発行

1 平成 22 年度技術士稲門会総会

昨年まで 10 月に行っていた総会を今年から 5 月に開催することになりました。今年度の総会は、5 月 29 日（土）に早稲田大学理工学術院 55 号館で開催されました。出席者は 17 名（事務局を除く）で今回初めて参加の方も 3 名おられました。

原田新会長の挨拶の後、平成 21 年度会計報告、平成 21 年度の活動実績および平成 22 年度の活動予定が説明されました。

今年度の活動としては、

- ・4 月 19 日（終了）：「技術士への誘い」会
- ・9 月（終了）：大学技術士会連絡協議会
合同講演会への参加

・11 月：大学技術士会連絡協議会への参加を予定しています。

また、本会の会員で日本技術士会の理事に就任された栗栖様より日本技術士会の理事会の活動について報告があり、その後総会を終了しました。

なお本田前会長は顧問として今後ご指導頂くことになりました。

総会の後、早稲田大学理工学術院創造理工学部総合機械工学科の藤江正克教授から「医療ロボット最前線」という演題で手術支援ロボットの最新動向などの御講演を承りました。

最後に藤江先生、理工学研究院総合機械工学科の中垣先生を含む有志 23 名で懇親会を行い親睦を深めました。



総会終了時の懇親会

2 第 2 回「技術士への誘い」開催

多くの方に技術士を目指してもらおう目的で昨年に行っている「技術士への誘い」の会を 4 月 19 日（月）に開催しました。早稲田大学以外の方や、既に企業で活躍されている女性卒業生、そして懇親会には 1 年生の学生も参加されました。

今回は平日に行ったため授業と重なり出席者が少なかったようで、次回は何曜日に開催するか検討中です。

3 他大学技術士会および技術士組織との連携

本会は白門技術士会（中央大学）、理窓技術士会（東京理科大学）、蔵前技術士会（東京工業大学）など他大学の技術士会、ならびに NPO 法人地域と行政を支える技術フォーラム（理事長は当会の原田会長）等の他組織とも連携をとって活動しています。

このような他組織への勉強会へは相互に紹介を行い会員が参加しています。それぞれの勉強会は当会のホームページで紹介をしていますので、ご参照下さい。

4 技術士試験の動向

本年度の一次試験の申込者は 27,297 人と、昨年度の 29,874 人から減少しました。



総会 藤江先生の御講演

二次試験筆記試験の受験者は微増でした。

	申込み	受験	受験率
本年度	36,432人	27,925人	76.6%
JABEE	413人	332人	80.4%
昨年度	34,614人	26,743人	77.3%

また、大学技術士会連絡協議会から平成21年度の技術士一次及び二次試験の大学別合格者数のデータが下記のように届いています。当協議会に加盟する大学の中で早稲田大学は日本大学に次いで2番目に多い合格者を出しています。

平成21年度技術士第一次及び第二次試験大学別合格者数

No.	大学名	技術士第一次試験				技術士第二次試験		
		大学卒	大学院卒	在学者	計	大学卒	大学院卒	計
1	東京工業大学	27	149	1	177	13	58	71
2	日本大学	392	85	4	481	141	28	169
3	早稲田大学	106	111	8	225	69	62	131
4	東京都市大学*	59	27	1	87	25	7	32
5	東京理科大学	127	68	4	199	42	23	65
6	中央大学	86	27	1	114	40	18	58
7	千葉工業大学	56	3	0	59	24	0	24
8	工学院大学	28	5	0	33	11	0	11
9	東北大学	52	143	3	198	38	45	83
10	大阪工業大学	126	15	1	142	48	10	58
11	摂南大学	29	2	0	31	3	0	3
12	名城大学	92	6	18	116	21	1	22
13	芝浦工業大学	118	31	11	160	29	9	38
14	慶応義塾大学	17	43	1	61	6	14	20
15	室蘭工業大学	46	27	0	73	35	8	43
16	北海学園大学	39	3	0	42	23	1	24
17	九州工業大学	49	40	18	107	18	16	34
18	名古屋工業大学	51	47	9	107	33	28	61

※東京都市大学は、武蔵工業大学を含む。

5 最近の日本技術士会の動き

6月24日に定時総会が開かれ、日本技術士会の状況が報告されました。

・今年3月末での技術士登録者数は68,546人、日本技術士会の会員数は13,357人ですので、6月時点での登録者数は7万人以上、会員数は1万4千人以上と思われます。登録者は毎年約3,000人増え、約1,100人が入会し、約600人が退会していますので、会員は毎年約500人ずつ増えています。

・技術士の勤務先は、一般企業50%、コンサル・自営41%、官庁・自治体・教育機関等9%となっています。09年度登録者だけで見ますと、一般企業35%、コンサル・自営45%、官庁・自治体・教育機関20%となっており、官公庁・準官公庁での資格取得が進んでいます。

・技術士CPD登録制度は6,826人が使用していますが、そのうち会員が5,222人で77%、CPD認定会員は980人です。技術士CPDの監査を試行しましたが、まだまだレベルは不十分でした。

・特別会計(試験会計)は、予算では1億円の赤字を見込みましたが、3千万円の赤字に収まりました。

理事会で報告された主な動きは次のとおりです。

・今は提携関係にある県技術士会を、県支部にして日本技術士会の地域組織にする検討を進めています。

・倫理要綱の改定を進めています。詳細は日本技術士会のHPをご覧ください。

・CPD認定会員制度を、要件未達者の資格は剥奪するなど、より厳格な制度に改定する検討を進めています。

6 会からのお知らせ

長年に亘り当会の幹事をされていた久保利利信様が平成22年5月に逝去されました。(享年63才)当会からは原田会長が代表として葬儀に参列しました。ここに謹んでおくやみを申し上げます。

7 編集後記

第1号の発行からずいぶん時間が経過してしまいましたが、第2号技術士稲門会会報をお送りします。

今後、本紙は年2回の発行を予定しており、皆様のご協力のもと徐々に内容を充実させていきたいと思っております。ご協力宜しくお願い致します。

第1号でもお知らせしましたが、当会のインターネットホームページは以下です。適宜更新していますのでご参照下さい。電子アドレスがあり、当会のメーリングリストに登録されていない方は上記ホームページを参照し、電子メールアドレスをご連絡願います。

<http://wasedape/sakura.ne.jp/>